

糖尿病・内分泌科初期研修カリキュラム

カリキュラム責任者：山崎 祐子

<一般目標 GIO: General Instructional Objective>

内科一般に必要な臨床能力の取得、および糖尿病を中心とした生活習慣病、代謝内分泌疾患において、全身の系統的診察により正しい身体所見の取り方を学び、病態把握のための臨床検査を行うことにより正確な診断を行い、適切な薬物治療を選択し実践できることを目標とする。

<行動目標 SBO: Specific Behavioral Objective>

経験すべき診察法・検査・手技

- ・ 患者の訴えを真摯に傾聴し、それに対する適切な問診・病歴聴取を行い記載できる。
- ・ 全身状態の観察を行い、正確にバイタルサインをとり、身体所見を記載できる。
- ・ 頭頸部の診察（甲状腺触診を含む）ができ記載できる。
- ・ 胸部、腹部の診察ができ記載できる。
- ・ アキレス腱反射、振動覚検査、および末梢血管障害に関する診察ができ記載できる。
- ・ 尿一般検査を行い、結果を評価できる。
- ・ 血液一般検査、血液生化学検査を適切に指示し、結果を評価できる。
- ・ 血糖の簡易検査を実施することができる。
- ・ 尿中・血中ケトン体検査を行い、結果を評価できる。
- ・ 経口ブドウ糖負荷試験を行い、耐糖能を評価できる。
- ・ 内因性インスリン分泌能検査（血中・尿中 C ペプチド測定、グルカゴン負荷試験）を行い、インスリン分泌機能を評価できる。
- ・ BMI (Body Mass Index)、HOMA-R を解釈し、インスリン抵抗性を評価できる。
- ・ 糖尿病コントロール指標 (HbA1c、グリコアルブミン、1.5AG) を理解し、評価できる。
- ・ CGM (Continuous Glucose Monitoring)、FGM (FlashGlucoseMonitoring) を行い、結果を評価できる。
- ・ 内分泌疾患の診断・鑑別のための負荷試験を実施し、結果を評価できる。
- ・ 脾臓、肝臓、腎臓における画像診断上の異常を指摘できる。
- ・ 心電図、負荷心電図、心エコー検査の結果を解釈し、冠動脈疾患の診断、評価ができる。
- ・ 血管内皮機能検査、頸動脈エコー検査の結果を解釈し、動脈硬化の診断、評価ができる。
- ・ ABI (Ankle Brachial Index) 検査、下肢動脈エコー検査、下肢 MRA 検査を解釈し、末梢血管病変の診断、評価ができる。

経験すべき症状・病態・疾患、指導・治療

- ・ 糖尿病における食事療法を理解し、指示、指導ができる。
- ・ 糖尿病における運動療法を理解し、適応判断と指導ができる。
- ・ 血糖自己測定および CGM の意義を理解し、指導と評価ができる。
- ・ 糖尿病性ケトアシドーシス、非ケトン性高浸透圧昏睡の診断と治療を行うことができる。
- ・ 低血糖性昏睡の病態を理解し、対処することができる。
- ・ 経口血糖降下薬の作用機序、薬物動態、副作用、適応を理解し、適切な処方ができる。
- ・ インスリン製剤、GLP-1 受容体作動薬の種類、作用、適応を理解し、適切な処方できる。
- ・ 糖尿病網膜症に対する眼科的治療を理解することができる。
- ・ 糖尿病腎症における食事療法、薬物療法を理解し、適切な処方ができる。
- ・ 糖尿病腎不全における透析治療を理解し、適切な時期に専門医に紹介できる。
- ・ 糖尿病神経障害における薬物療法を理解し、適切な処方ができる。
- ・ 糖尿病合併高血圧症における食事療法、薬物治療を理解し、適切な処方ができる。
- ・ 糖尿病合併脂質異常症における食事療法、薬物治療を理解し、適切な処方ができる。
- ・ 糖尿病合併冠動脈疾患における薬物療法を理解し、専門医に依頼することができる。
- ・ 糖尿病合併脳血管疾患における薬物療法を理解し、専門医に依頼することができる。
- ・ 糖尿病合併末梢血管障害における薬物療法を理解し、外科的治療の適応を判断し、専門医に依頼することができる。
- ・ 糖尿病におけるチーム医療を理解し、協力できる。
- ・ 甲状腺疾患、下垂体・副腎疾患の病態を理解し、薬物療法ができ、外科的治療の適応
◇ に関して、専門医に依頼することができる。

<方略 LS: Learning Strategies>

日本糖尿病学会認定専門医・指導医が主に病棟・外来において指導に当たる。糖尿病を中心とした主科入院患者 5～8 名を担当し、食事・運動療法の療養指導を始め、糖尿病教室への参加、各種検査の施行、およびインスリン治療を含む薬物治療を実践する。他科入院中の診療要請の糖尿病患者に対しても、周術期血糖管理や各種疾患・病態・治療に伴う高血糖是正等も担当する。また、症例検討会や指導医による糖尿病の基礎から最新治療に関する講義、学会や学術講演会への参加等により、更なる知識の修得や実臨床のレベルアップを図る。研修期間中に貴重な症例を経験した際には、専門医の指導のもと学会等での発表の機会を与える。

週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土
8-9 時						
午前	病棟	病棟	病棟	病棟	病棟 One Point レクチャー	
午後	病棟	病棟	病棟 糖尿病教室(隔月)	病棟	病棟	
夕方	糖尿病レク チャー	糖尿病レク チャー			カンファレ ンス(症例 検討、他)	

<研修評価 EV: Evaluation>

指導医による評価： 研修指導医および関連スタッフが研修医の評価を行う。

研修医による評価： 自己評価ならびに研修診療科・指導医の評価を行う。